

議会が「もっと」近くなる

市民の声

もっと増やしたい
私たちの声を届ける機会

リニューアルされた議会だより、最初「何かな？」と思いました。表紙がフルカラーだったので、まさか議会だよりだと思いませんでした。

前はお堅いイメージだったので、明るく見やすくなったと思います。

私たち市民には、なかなか議会のことは伝わってきません。どうしたら議題に取り上げてもら



えるのでしょうか？ もっと市民の声を拾ってくれる場があったらいいな～と思います。自分たちの声が議会に届く機会が増えれば、もっとたくさんの方が議会に興味を持つのではないのでしょうか？

声に出せない人の声を拾ってやってください。これからの時代、地域・国を支えていくのは、子どもたちです。その未来の子どもたちのための、さまざまな先行投資、また教育、福祉、環境の充実を望んでいます。

「地域の子どもは地域で育てる」。障がいがあってもなくても、地域にとってはかけがえのない未来の子どもたち。みんなで助け合い、顔の見える明るく住みやすい地域になっていくことを私は願っています。

山田恵里さん(分水学校町)

編集後記

カラー化となりリニューアルされた「つばめ市議会ノートブック」の反応が気になっていたところですが、地元新聞から注目されたのをはじめ、市民からも「おー、議会だよりも変わりましたね」との声も寄せられ、私たちも「ホッ」としています。

今号では初めて市民に登場していただきました。これからも皆さんとの距離が縮まり、「見ると議会のことがよく分かりますね」と言っただけの議会だよりを目指していきますので、厳しく、また温かい目でご覧いただけたらと思います。

長井由喜雄

【議会報等特別委員会】

委員長：長井由喜雄 副委員長：小林由明
委員：渡邊雄三 タナカ・キン 齋藤紀美江 齋藤信行 中條征男

今号の表紙



皆さん、何だと思いましたが？

実は旧燕市の下水道のマンホールのフタです。調べてみましたが、各地区にもそれぞれ特徴のあるものがありました。足元にも“宝物”があったんですね。皆さんも新しい宝物を見つけてみませんか。



ほかにも旧分水町(左)、旧吉田町(右)のマンホールのフタがあります。

